教育コミュニティづくりにおける地域人材の養成について

資料１

|  |
| --- |
| ＜課題認識＞市町村ヒアリング等を通じて、今後の教育コミュニティづくりを継続的・安定的に推進するためには、「人材養成」が課題となっている。 |

**＜現状と課題について＞**

（現　状）

●現在のコーディネーター数　　大阪府（中核市含む）　　H30　 565人

●現在のボランティアの参加数　大阪府（中核市含む）　 H30 81,400人（累計）

●コーディネーター養成講座の状況　　　　　　　　　　　H13～H17 1,007人

　　　　　　　　　　H27 　　 85人

 H30 19人

（課　題）

●令和元年　市町村ヒアリングの結果→人材が課題　　　　H30　　 　17/41市町村

　　・人材の不足　　　　・人材の固定化

・人材の高齢化　　　・若年層の不足

・後継者の不足

**＜今年度の取組み＞**

（実態の把握）

**●**おおさか元気広場関係者研修（第２回、第３回）での対応

　　・参加者アンケートにおいてコーディネーター、ボランティアに対して質問

　　・参加者同士の交流のテーマを「人材養成」として協議

**●**令和２年　市町村ヒアリングにおける確認項目の検討

　　・コーディネーターについて（年齢層・属性・参加の経緯）

　　・ボランティアについて（年齢層・属性・参加の経緯）

・市町村の人材育成に関する計画

・市町村における広報の方法や頻度

・働いていてもできる活動（土日祝の活動、体育大会などの行事での手伝い　等）の有無

・引継ぎの方法　など

**＜令和２年度の取組み＞**

●令和２年　市町村ヒアリングの実施（5月～6月）

●ヒアリング結果の集約・分析

●課題の似通った市町村をグループ化した上で、グループごとの対応案を作成

●社会教育委員会議において協議